

輝け！シン尾花沢中

第120号

令和7年

11月5日

真理のとびら うちひらく 希望にもえる わが学園

「漆黒のわたしを誘う夏の星」～石沢さくらさん、山形県知事賞～

「五・七・五」の17文字に思いが込められる、世界で一番短い文学といわれる俳句…。11月2日（日）、山形県少年少女俳句大会表彰式がサルナートで行われ、県内22校、1426句から「漆黒のわたしを誘う夏の星」の句で山形県知事賞を受賞した石沢さくらさん（3年）が表彰されました。

さくらさんは「進路などに関わって疲れや不安を抱いていた今年の夏の夜、気分転換に外に出ました。夜空一面に輝く星空の美しさをみたとき、たまっていた疲れや不安が一瞬で吹き飛びました。そのときのことを詠んだ句です」と語ってくれました。

他にも、みずみずしい感性があふれる作品を次に紹介します。



記念撮影でのさくらさん



句に込められた
想いを語った
さくらさん

賞名	句	受賞者名（学年・学校）
山形県議会議長	涼しさを部屋に残して外へ出る	本人の希望により非公開
山形県教育委員会教育長賞	アメ横のごちゃ混ぜ句い春風と	庄司 健人さん（3年・三川中）
山形県市長会会長賞	飛ぶ火の粉よけながら待つさつまいも	戸村 奏心さん（1年・東根一中）
尾花沢市長賞	オムライス上手にできて五月晴れ	植野 まおさん（3年・米沢二中）
尾花沢市議会議長賞	『どこに行く？』『何になる？』山笑う	寒河江 紬月さん（3年・大富中）
尾花沢市教育委員会教育長賞	突然に恋が始まる運動会	川原 愛翔さん（1年・東根一中）
山形県現代俳句協会賞	弟とサイダー分ける平和な日	佐藤 綾郁さん（3年・宮川中）
尾花沢市芸術文化協会賞	桜散りすっからかんな心のように	柴田 叶夢さん（3年・酒田六中）
尾花沢市観光物産協会賞	友と話す消えぬ日焼けと思い出と	伊藤 ほなみさん（3年・酒田六中）
尾花沢市商工会賞	蟬時雨止むとき空の青まさる	樋口 緑さん（3年・米沢二中）
みちのく村山農業協同組合賞	青嵐に逞らいゴールの十五歳	井上 礼温さん（3年・日新中）
尾花沢ロータリークラブ賞	サンダルを採す夕暮れ夏の川	大場 一颯さん（1年・東根一中）
尾花沢中央ロータリークラブ賞	夏祭りいこの彼女やってきた	長岡 奏汰さん（3年・大江中）
奥山まや先生特選	投げられて道着の形に汗の跡	山田 海司さん（3年・金山中）
大類つとむ先生特選	知育菓子こっそり開く夏祭り	伊藤 陽月葉さん（1年・東根一中）
あべ美佳先生特選	思い出は夏まで残す雪だるま	庄司 一期さん（3年・大江中）

なお、大類 岳さん（2年）が、卒業生高橋伊一郎さんとともに、ボランティアとして表彰式運営を支えてくれました。岳さん、ありがとうございました。 【文責：校長 工藤雅史】